

# “三重大学のインターンシップ”

三重大学では、学生が自己の適性を知り、専門分野の学習意義を自覚し、社会人として必要な資質を体得し、職業意識を醸成することを目的として、企業、地方公共団体及び各種団体等の協力を得てインターンシップを実施しています。

学生の多様な進路をふまえ、インターンシップを狭い意味での就業体験とは捉えず、大学教育の一環として位置づけていきます。

## インターンシップの流れ

(キャリア支援センターを通じた) インターンシップの場合

学部1～3年生  
大学院1年生

5月 インターンシップ  
説明会/事前研修会

6月 募集・選考

8月 実習

10月 インターンシップ  
事後研修会

3月 就職活動へ!

学部4年生  
大学院2年生

## インターンシップ 説明会/事前研修会

キャリア支援センターでは、インターンシップ参加希望者を対象としたインターンシップ説明会/事前研修会を5月に開催しています。インターンシップ参加希望者は参加必須の研修会です。

インターンシップ参加のための手続きから、心構えや目標設定、ビジネスマナー等盛りだくさんの内容で、夏に多く開催されるインターンシップに備えます。企業ブースで各企業の担当の方からインターンシッププログラムの説明を受ける時間もあります。

平成30年度はインターンシップ参加希望者750名が参加しました。



## インターンシップ 事後研修会

10月にはキャリア支援センター主催によるインターンシップ事後研修会を開催しています。

事後研修会は夏休みにインターンシップに参加した学生を対象として、インターンシップの経験で得られたことを共有し、深めることを目的としています。

平成29年度は128名が参加し、「インターンシップの経験を今後はどう生かすか」をテーマにグループディスカッションを行いました。

平成30年度は10月17日(水)に開催予定です!



## Question いつ行くものなの?

夏休み等の長期休暇中に多く実施されています。三重大生を対象として学期期間中に実施されるものもあります。学部3年生・大学院1年生の参加が多いですが、全学年対象で学部1年生から参加できるものもあります。詳しくはキャリア支援センターで確認を!

## Question 何日間行くものなの?

実施期間は1～5日から10日、さらに長期間のものまで企業・団体によって様々です。研修内容によって異なりますので、自らの目的に合わせて選ぶ必要があります。

## インターンシップ Q&A

### Question どんなことができる?

社員と行動をともにして仕事そのものを体験する「実践型」、いろいろな部署の仕事を知る「見学・体験型」、事業内容を学び働くことについて考える「講義型」、課題に対して企画提案を行う「プロジェクト型」、など、企業・団体によって様々。

早い時期から参加して、自分の将来について考えよう!  
自分の目的に合ったプログラムを選ぼう!

## Question どういう準備が必要なの?

何のために参加するのかをしっかりと考え、終了後にしっかりと振り返りができるよう、参加の目標を立てることが必要です。そのために必要な情報を自分でしっかりと集めておかなければなりません。

## Question インターンシップは単位になるの?

教養教育をはじめ、いくつかの学部でインターンシップ科目が単位化されています。詳しくは各学部で確認を!

## 三重大が進める「教育的インターンシップ」

三重大  
キャリア支援センター長  
野崎 哲哉



三重大が進める「教育的インターンシップ」とは、大学での学修と社会組織での実習・経験を結びつけ、学生の学修の深化、新たな学習意欲の喚起、さらに自己の職業適性・将来設計を考える機会の提供を図るものです。インターンシップを狭い意味での就業体験とは捉えず、多様な社会的実践の取組を含むものと位置付けています。

地域活性化が求められる今、三重大ではディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿った教育実践の一環として「教育的インターンシップ」に力を入れています。地域社会に有能な人材を輩出するためのこの取組にぜひともご理解・ご協力をお願い致します。

## 体験談

生物資源学部 2年(インターンシップ参加時) 井上 雄介  
万協製薬株式会社/5日間

### ●参加のきっかけは?

3年生になってインターンシップに参加した先輩から、時間的に余裕のある2年生のうちから参加しておいた方がいい、と勧められたことがきっかけです。インターンシップ先は、以前から製薬関係の仕事に就きたいと思っていたこと、製薬会社のインターンシップの中でも特に内容が濃く、いろいろな製薬の工程を見せてもらえるプログラムだったことから選びました。

### ●実際に参加して

大学の講義の中で行う実験での経験が、製薬の工程に応用できることがわかりました。例えば、参加前には意義を見出せず、あまり好きではなかった講義の中に、製薬の工程での大切な要素が含まれていたことに気付くことができました。

また、万協製薬は主に依頼されて薬を作る会社ですが、他にも新薬を開発する会社など製薬会社にもいろいろな会社があることを知りました。インターンシップに参加して以降、他の製薬会社も調べ始め、漠然と考えていた製薬関係の仕事の中でも自分がどんな製薬の仕事をしたのか、そのために今どんな勉強するべきかを考えるようになりました。

今は、これまでにない革新的な薬を作ることに憧れています。万協製薬のインターンシップに行ったことで、製薬の中でも自分のやりたいことに気付きました。今年は新薬開発を行う別の製薬会社のインターンシップにも参加予定です。

少しでも興味がある業界・仕事のインターンシップに早いうちに行っておいたほうが良いと感じました。それによって得るものは多いと思います。



## 体験談

工学部 1年(インターンシップ参加時) 林 奏帆  
三重県地球温暖化防止活動推進センター/5日間

### ●参加のきっかけは?

教養教育の「環境インターンシップ」の講義の一環で参加しました。インターンシップの概要や受入企業を知る講義が数回ある以外は、夏休みにインターンシップに行くのがメインの1.2年生対象の講義です。

私の学科では1年生は座学がほとんどですが、友人から他学部では夏休みに実習や課題があると聞き、何か自分で動いて体験することをやってみたく感じたこと、環境について高校のときから興味を持っていたことから、「環境インターンシップ」の講義を選択しました。

### ●実際に参加して

私の参加したインターンシップは就職に直結するものではありませんが、イベント企画に当たった会議の陪席や、学童保育施設での環境授業への参加の三重県地球温暖化防止活動推進センターの幅広い業務を見学・体験させていただきました。

インターンシップ前に下調べをしても、やはり実際に行って体験するのは全く違い、詳しいところはわかっていなかったと感じました。今後就職を意識したとき、やはり有名な企業に目が行ってしまいがちですが、企業の名前や評判だけに左右されず、自分の目で見て考えたいと感じました。

今年はインターンシップの参加予定はありませんが、次は3年生になったら就職を意識して参加したいと考えています。1.2年生で参加するインターンシップは、就職についてまだ何も方向性が決まっていなくても、興味だけで気軽に参加できるのが良い所だと感じました。参加してみることで、新しい選択肢が広がることもあると思います。

